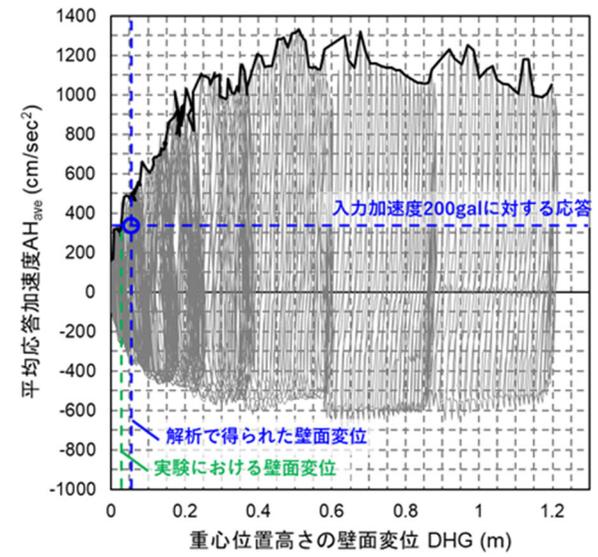
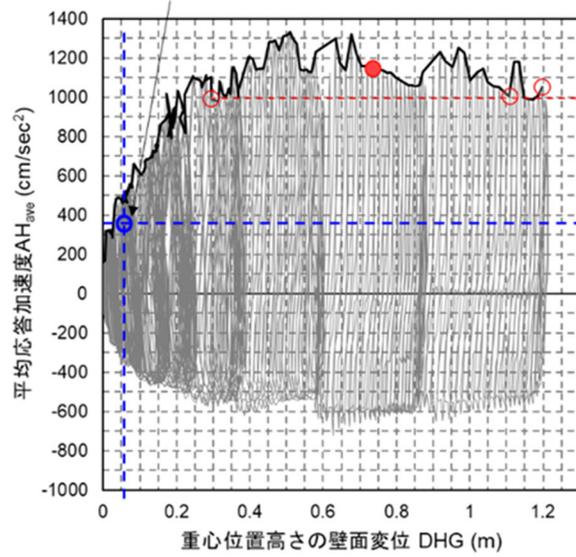


正誤表

国総研資料 No.1300「橋台背面アプローチ部等の設計に関する共同研究(補強土壁の検証編)」について、下表のとおり本文中に誤記がありましたので、お詫びして訂正いたします。

訂正箇所	誤	正
2.3.2(4)1 図-2.3.2.21 c) (p.98)		
2.3.2(5) (p.99)	<p>図において、横軸は 2.3.2(2)2)に示す各加振ステップのすべり降伏震度比 <math>k_h/k_{hys}</math> を、縦軸は 2.3.2(2)2)に示す各ステップの補強材の降伏強度比 <math>T_{maxmax}/T_c</math> を示している。</p>	<p>図において、横軸は 2.3.2(2)2)に示す各加振ステップのすべり降伏震度比 <math>k_h/k_{hys}</math> を、縦軸は 2.3.2(2)2)に示す各ステップの補強材の降伏強度比 <math>T_{maxmax}/T_y</math> を示している。</p>
2.3.5(2)1) (p.149)	<p>図-2.3.5.3 において実験における壁面変位は 80mm 程度であるのに対し、解析で得られた壁面変位は 110mm 程度であり、結果に大きな乖離はない。</p>	<p>図-2.3.5.3 において実験における壁面変位は 30mm 程度であるのに対し、解析で得られた壁面変位は 50mm 程度であり、結果に大きな乖離はない。</p>

2.3.5(2)1  
図- 2.3.5.3  
(p.150)



※ 令和7年3月14日に公開資料 (PDF) を更新しました。現時点で公開されている資料は上表の修正が反映されています。